

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	(集排)事業予備費	会計名称	農業集落排水特別会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	3 款 1 項 1 目	事業番号	9040	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	岡本智和	
法令根拠等	地方公営企業法				実施期間	【開始】	令和／平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
	潤いのある水環境づくり						
総合計画における本事業の役割	子供からお年寄りまでが快適に生活できる環境を構築						
事業の対象	農業集落排水事業				事業の目的	予備費充当	
事業の内容（整備内容）	予備費充当				評価事業としないこととした理由	予備費のため	

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
財源内訳	直接事業費	0	500	0	0	0	0	予備費	千円	0	500	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	0	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	500	0	0	0	0						
	一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工（にんく）数		0.01	0.00				0.01						
1人当たりの人件費単価		7,992	7,812				7,812			0			
※ 直接事業費＋人件費		80	508				78						
主な実施主体		伊予市		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		予備費				0			
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
						500	500	500	500	500	2,500		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	緊急時の備えとしている		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	緊急時に備えた予算措置のため。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	